

低温床暖推奨 複合オークフレンチヘリンボーンパーケット施工上の注意点と施工方法

■適合できる床暖房の種類

- ・小根太間隔 (釘打ち可能箇所) が 303mm ピッチの床暖房システム。

■施工前の確認と注意点

- ・フローリングがお手元に届きましたら配送時の破損等が無いが速やかにご確認ください。
- ・湿度の高い場所や直射日光の当たる場所での保管は避けてください。また、開梱状態での保管も避けてください。

■適用できる床構造・根太組工法 (もしくは下記の下地と同等以上の剛床、二重床)

①下地施工

- ・大引きは 90 mm角以上、根太は 45 mm ×35 mm以上の乾燥材を使用してください。
- ・大引き間隔は 909 mm、根太間隔は 303 mmとし、水平レベルで施工してください。
- ・下張り板は 12 mm以上のラワン合板又は針葉樹合板を使用してください。
- ・下張り板の長手方向と根太は直交する方向とし、短手の継ぎ手は根太芯とした縦レンガ貼で敷き並べてください。
- ・下張り板は 38 mmのコーススレッドを使用して 303 mmピッチで留め付けてください。
- ・床暖房パネルの周辺部は段差が生じないように周囲合板を捨て貼りしてください。
- ・十分な強度、剛性、平滑性があり、ゆみやがたつき、きしみ音がなく、十分乾燥していることを確認してください。
- ・床暖房パネルの施工はメーカーの説明書やマニュアルに従って行ってください。

②仮並べ

- ・天然木を使用しておりますので、板ごとに色や色の幅、表情などが異なります。仮並べでバランスを確認してください。
- ・品質には万全を期しておりますが、万が一施工に適さない欠陥が認められた場合はその板はご使用にならず、大変お手数ですが 直ちに弊社担当者へご連絡ください。
- ・フローリングの貼り方向は、床暖房パネルの小根太と直交する方向としてください。
- ・周辺に捨て貼りした周囲合板を跨ぐように割り付けてください。
- ・エンドマッチの接合部は小根太の位置になるようにしてください。

③フローリングの貼り込み (※図をご参照ください。)

- ・必ず 9 ~ 12mm 以上の捨て貼りをし、根太の位置を墨出ししてください。
- ・複合オークフレンチヘリンボーンパーケットの形状は、右上がり・左上がりの左右対称 2 タイプとなっており、それぞれ雄雌の実位置が異なっています。貼り進めていく方向側の実が常に雄実 (凸) になるように施工してください。 (※図をご参照ください。)
- ・フローリングは接着剤と釘を併用して固定してください。
- ・接着剤は 1 液ウレタン樹脂系接着剤を使用してください。
推奨接着剤 / コニシ KU928C-X
- ・釘はフロア釘又はフロアステーブルで 38 mm以上の長さのものを使用してください。
推奨ステーブル / マックスステーブル 438MA フロア (N)
- ・貼り終いは床板をはめ込む前に正寸カットし、収まりを確認してください。
- ・壁際、見切縁や敷居周りなどとフローリングの取り合いには 5 mm程度のエクspansionを確保してください。
- ・接着剤は小根太上及び小根太の延長線上に幅いっぱいビート状に塗布してください。
- ・フローリングを傷めないように敷き込んで押さえてください。施工時の湿度状況に合わせて、木の伸び縮みを考慮した締め付けにしてください。
- ・釘は小根太など釘打ち可能な部分以外には打たないでください。
- ・釘は全ての小根太上にかかる雄実に 45 度の角度で各 2 本、頭部が残らないように打ってください。

